

事務事業名	公立保育所民営化・統合事業	事務事業No.	221 - 14
-------	---------------	---------	----------

**1. 基本情報**

担当部	担当課	担当係	作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名
福祉部	保育課	保育・子ども園	係長	柴田 麗子	課長	日高 政徳
施策体系	総合計画	政策	2	行政経営		
		施策	2	公共施設等の最適化と有効利活用		
		基本事業	1	公共施設の総合的の管理の推進		
	その他の計画	個別計画	なし			
根拠法令・条例・要綱等	飯塚市附属機関の設置に関する条例、飯塚市公立保育所・子ども園あり方検討委員会規則					
事業開始年度	平成19年度	事業終了年度	R5	事務事業類型	計画策定事務	
実施手法	全部直営	補助金等の支給	なし	実施計画期間	なし	

**2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）**

概要	公立保育所・子ども園あり方検討委員会答申を受け、公立保育所等の民間移譲と統廃合・民間委託を実施する。					
対象	働きかける相手・もの	公立保育所（4施設）・公立子ども園（2施設）				
手段	方法・働きかけ（活動指標）	公立保育所等のあり方に関する答申を策定し、今後のあり方に関し必要な事項について調査審議する				
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	公立保育所等の再編整備、統廃合の実施				

**3. 活動指標（決算成果説明書と連動）**

指標名	単位	指標の説明（算式等）	前年度実績	本年度実績	次年度見込
検討委員会の開催	回	検討委員会の開催回数	2	3	3

**4. 成果指標（決算成果説明書と連動）**

指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
公立保育所統合の実施	件	1	0	1	0
説明	方向性	達成目標年度	0	1	
	減少	令和5年度			
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度			
指標	単位	達成目標値	前年度実績	本年度実績	次年度見込
説明	方向性	達成目標年度			

**5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）**

経費区分	一般会計	経常経費	特別会計	-					
予算科目・事業	会計	01 一般会計	款	03 民生費	項	02 児童福祉費	目	04 保育所費	他 - 事業
	大	06 公立保育所統合事業費	中	01 公立保育所統合事業費	他 - 事業				
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)			次年度予算(千円)		
	正職員	0.32 人 2,499	0.32 人 2,543				0.10 人 795		
	任期付職員(保育士)	0.00 人 0	0.00 人 0				0.00 人 0		
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00 人 0	0.00 人 0				0.00 人 0		
	任期付職員(CW・水質)	0.00 人 0	0.00 人 0				0.00 人 0		
	再任用フル	0.00 人 0	0.10 人 456				0.00 人 0		
	再任用短	0.00 人 0	0.00 人 0				0.00 人 0		
	合計	1級フル	0.01 人 28	0.01 人 30				0.00 人 0	
		1級パート	0.00 人 0	0.00 人 0				0.00 人 0	
		2級パート	0.00 人 0	0.00 人 0				0.00 人 0	
人件費計(A)		2,527	3,029	令和4年度の開催回数は2回、令和5年度は3回開催			795		
事業費	直接事業費(B)	67	54				0		
	総事業費(A+B)	2,594	3,083				795		
直接事業費のうち の主な歳出内訳	報酬	59	47				0		
	費用弁償	8	7				0		
	使用料・手数料(受益者負担分)	0	0				0		
財源内訳	国・県支出金	0	0				0		
	市債	0	0				0		
	一般財源	2,594	3,083				795		
	その他( )								

6. 事務事業の事後評価★		
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価	やや高い	飯塚市が設置する附属機関である
効率性 評価	高い	この事業により運営の効率化を図るもの
有効性 評価	高い	統廃合計画に基づいて事業をすすめることができた

7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	なし
一次評価	⑤コスト・成果ともに現状維持	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策	なし
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入			
なし			

8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★	
【成果】	楽市・平恒統合保育所園舎の建設工事をスケジュールに沿ってすすめていくことができた。
【課題】	スケジュールの遅れがあり、予定どおりの開所に向けて、進捗状況を注視する必要がある。

9. 今後の事業の方向性と改善策	
成果の方向性	【理由】 統廃合事業の終了
完結	【理由】
コスト投入の方向性	【理由】 統廃合事業の終了。
縮小	【理由】
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策	-
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策	-

評価変更理由	成果の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>「成果の方向性」は統合、「コスト投入の方向性」は縮小とする。</li> <li>各会議体の統合を図ることで、会議にかかるコストの縮小に繋げること。</li> </ul>
	統合	
	コスト投入の方向性	
	縮小	